

(様式2)

校 種	小・中 どちらかに○	学校番号	3 2	学校名	宇都宮市立瑞穂野北小学校
-----	---------------	------	-----	-----	--------------

令和7年度 学習指導に関する取組

1 学習指導上の主な実態

(1) 国・県・市の学力調査などから

国語では、既習漢字を読んだり書いたりする問題は比較的できているといえる。一方で、記述式で回答する問題の正答率が低い傾向にある。必要な情報を整理し、自分の考えをまとめて伝えることに課題が見られる。

算数では、数と計算の問題では基礎的な計算が身に付いている一方で、小数についての理解が不十分である。問題文が長く図やデータの読み取りなどが必要になったり、答えが記述式になったりすると正答率が下がる傾向にあり、問題場面を読み取ったり具体的にイメージしたりすることに課題が見られる。

(2) 国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる。」では、市の肯定的解答より低い傾向にある。特に、児童自身が「なぜ」、「どうして」と問いをもち、課題を既習事項と関連付けて考えることに課題が見られる。学習の取り組み方として、「グループなどの話合いに自分から進んで参加している。」では、市の肯定的解答より高い学年が多い。学校全体で「考えを伝え合う」ことを大切にしたい授業に取り組んできた結果であると考えられる。また、「学校の授業の復習をしている。」、「テストで間違えた問題を勉強している。」児童の割合は低く、自主的に学習に取り組むことができていない傾向が見られる。

(3) 授業等への取組状況から

基本的な学習態度は良好であるが、宿題等の提出や必要な学習用具の準備については、個人差が見られる。教師や友達の話をも、相手を見て聞くことはできるが、内容が理解できていない場合もあり、児童の語彙力に課題があると考えられる。また、自分がしっかり理解できていないところに気付いたり、自分で課題を見付けたりして主体的に取り組んでいこうとする意欲に課題が見られる。

2 今年度の重点目標

児童自ら問いをもち主体的に学び合う授業の工夫

学校課題「主体的に学習に取り組み、課題を解決していける児童の育成

～ともに学び喜びを味わう体験を、理科や生活科の授業を通して～

- ・「宇都宮モデル」の「じっくり」（課題解決にあたる）に視点を置いた授業改善を推進する。
- ・安心して考えを伝え合い、協働的に学び合うことのできる学級集団づくりを目指す。

3 今年度の取組（「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」に関する取組は文頭に★、「令和7年度指導の重点」に関する取組は文頭に□、授業における取組のうち重点は文頭に○）

(1) 学習指導の工夫・改善

★□○「宇都宮モデル」の実践

- 主体的に学習に取り組むための工夫（児童が課題を見付けるための仕掛け、授業のデザイン化）
- 学習内容の定着を図るための工夫（AIドリルを活用した「個別最適な学び」の推進、家庭学習の習慣化）

★□○効果的な学習形態の工夫

★□○英語教育・国際理解教育の充実（英語に触れる機会の充実）

- 郷土への愛情を育む学習の推進（社会科・宇都宮学・宇都宮市道徳科地域教材）
- 個に応じた指導の充実（習熟度別学習・少人数指導・TT・かがやきルーム等）

★□○ICTの効果的な活用（GIGAスクール構想）とICT支援員の活用

★□○教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成（キャリア教育・SDGs等）

★○宮・未来キャリア教育の充実（キャリアパスポートの活用・「宮っ子『夢』教室」の実施等）

★□○地域学校園での共通理解と実践（小学校高学年における教科担任制の推進、乗り入れ授業）

(2) 基礎・基本の確実な習得

- 文章の構成や展開について、記述を基に捉える学習の充実（各教科等）

★□○複数の資料から必要な情報を整理し、与えられた条件に合わせて大切な言葉を選んで文章を要約する学習の充実（各教科等）

- 「書くことキャンペーン」の実施（自分の考えを文章にまとめて記述する学習の充実）

- 読書活動を通じた語彙力の強化（「必読図書」の推進、読み聞かせの充実、学校図書館司書の授業へ参画）

★□ AI型個別学習ドリルなどの学習履歴を活用した学習支援の充実

- ・チャレンジタイムによる基礎学力の定着

- （漢字ミニマム、ステップアップシート、学力調査問題の過去問、問題集等の活用）

(3) まとめの学習の充実と家庭学習の習慣化

★□○めあてと整合性をもったまとめや振り返りの充実

- ・「家庭学習の手引き」の活用（児童への具体的な指導と保護者への啓発）

(4) 家庭・地域との連携

★□ 地域の教育資源を生かした学習活動（各教科等の学習支援や読み聞かせ、全校合唱等における学習支援ボランティアの活用）

- ・学級懇談会等における、各種学力調査・学習と生活のアンケートの結果をもとにした学習指導の説明

- ・個人懇談における情報交換（規則正しい生活、家庭学習の充実、テレビやDVD、ゲーム、携帯電話やスマートフォン等利用の約束について）

- ・家庭学習の協力依頼

★□ デジタル・シティズンシップ教育の推進

(5) 理科教育の研究推進

★□○児童がともに学び、喜びを味わう授業の創造

★□○理科教育の校内研修の充実